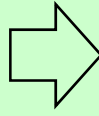


## 果樹の新規導入、にんじんの栽培面積の拡大による経営の安定

## 経営体の概要

昭和60年 基幹作物:葉たばこ、にんじん、  
水稲  
経営面積:4.7ha



平成21年

基幹作物:にんじん、葉たばこ、  
かき、梅、水稲  
経営面積:8.8ha

## 取組の経緯と営農転換のポイント等

以前は、水稲、葉たばこを主体とした経営を行っていたが、事業により造成された農地へ果樹を新植し、経営の複合化を図った。また、本地区の特性である砂質土を活かし、葉たばこの裏作としてにんじんの栽培面積の拡大に取り組み、経営を安定させた。

砂質土は水はけが良好であり、かん水施設の有効利用により、良質なにんじんが栽培できることが経営規模の拡大につながっている。

## 営農改善のポイント

## ①作物の変化

以前は、水稲、葉たばこ、にんじんを主体に作付けを行っていたが、事業で造成された農地で、果樹(かき、うめ)の新植を行い、複合経営を展開している。



にんじんのかん水状況

## ②栽培技術の確立・向上

県内では比較的大規模に葉たばこの栽培を行っているが、農作業の機械化で空いた労力で防除などの管理作業を行うことで、病害等の発生を抑え作付規模を維持しながら安定生産につなげている。

## ③省力化

事業により、給水施設が設置されたため、にんじんの発芽を揃え、初期生育が安定したことにより、機械作業効率が向上した。

また、各ほ場に設置されたスプリンクラーを活用することで、かん水時間の短縮を図っている。



にんじんの収穫状況

## 事業概要

事業種 国営総合農地開発  
関係市町 鳥取県米子市、西伯郡大山町、伯耆町、日野郡江府町  
受益面積 2,057ha  
事業期間 昭和47年度～平成14年度  
(平成15年度～平成17年度:施設機能監視期間)

事業目的 農地造成、区画整理、畑地かんがい  
主要工事 農地造成385ha、区画整理29ha、  
下蚊屋ダム 有効貯水量3,440千m<sup>3</sup>、  
幹線水路40.4km、支線水路32.1km、  
揚水機場1カ所、幹線道路16.8km、  
支線道路18.6km

## 位置図



## &lt;問局い合わせ先&gt;

中国四国農政局  
農村計画部資源課  
電話:086-224-4511

(H21年度調査時点)